

環境経営レポート

対象期間: 令和6年10月～令和7年9月



発行日: 令和7年12月25日

有限会社 不動建設



エコアクション21[®]
認証番号0007579

環境経営方針

【環境経営における基本理念】

有限会社不動産は、社会インフラとしての舗装・土木工事を通じて緑豊かな自然の次世代への継承を目指し、事業活動における環境への負荷を正しく把握し、持続可能な環境経営システムの構築、積極的に環境保全活動を推進することに努めます。

【環境活動における基本方針】

当社は環境経営における基本理念に基づき、事業の活動に関わる環境負荷を低減するため、常に事業活動の改善を心掛け、以下の方針を定め、環境経営の継続的改善を推進します。

1. 環境改善のため、当社の事業活動に関わる環境への影響を把握し、定期的に見直すことによって、継続的な環境負荷の低減を目指します。
2. 当社の事業活動に関わる環境に影響するものの中から、以下に挙げる項目を重点的に取り組みます。
 - ① 電力・自動車・収集運搬車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 水使用量の削減
 - ③ 廃棄物の削減とリサイクルの推進
 - ④ 環境への影響を考慮した資材の使用及びグリーン製品の積極的な購入
 - ⑤ 清掃活動等の地域に対する貢献活動
 - ⑥ 受託産業廃棄物の適正処理(可能な範囲での優良事業者への委託)
3. 当社の事業活動に関わる環境関連法規や条例等を明らかにし、これを遵守します。
4. この環境経営方針の全従業員への周知徹底を図り、社外にも公表します。

制定日【平成23年1月1日】

改定日【令和2年12月1日】

有限会社 不動産

代表取締役 中山文昭

取組の対象組織・活動

【事業所の概要】

1. 事業所名及び代表者名

有限会社 不動建設
代表取締役 中山文昭

2. 所在地

〒770-0064 徳島県徳島市不動西町2丁目1550番地の1

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者…松原智也
環境事務局…中山奈穂美
連絡先…TEL 088-632-0344

4. 事業内容

徳島県知事許可（般一07）第466号

土木工事業、舗装工事業

許可年月日：令和7年9月4日 許可の有効年月日：令和12年9月3日

徳島県知事許可番号 03600209369

産業廃棄物収集運搬業

許可年月日：令和6年5月31日 許可の有効年月日：令和11年5月30日

産業廃棄物の種類：

汚泥（建設系無機性のものに限る）、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、
コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、がれき類

廃棄物処理フロー

産業廃棄物収集運搬

最終処分（社外処理）

5. 事業の規模

法人設立：昭和49年9月5日

資本金：3000万円

売上高：20600万円／R6.10～R7.09（第52期）

従業員数：11人

事務所床面積：114㎡

受託した産業廃棄物の処理量・収集運搬量

今年度実績量 主たる産業廃棄物種類：アスファルト殻 0.0t

保有車両台数

2tダンプカー…1台、3tダンプカー…1台、4tダンプカー…2台

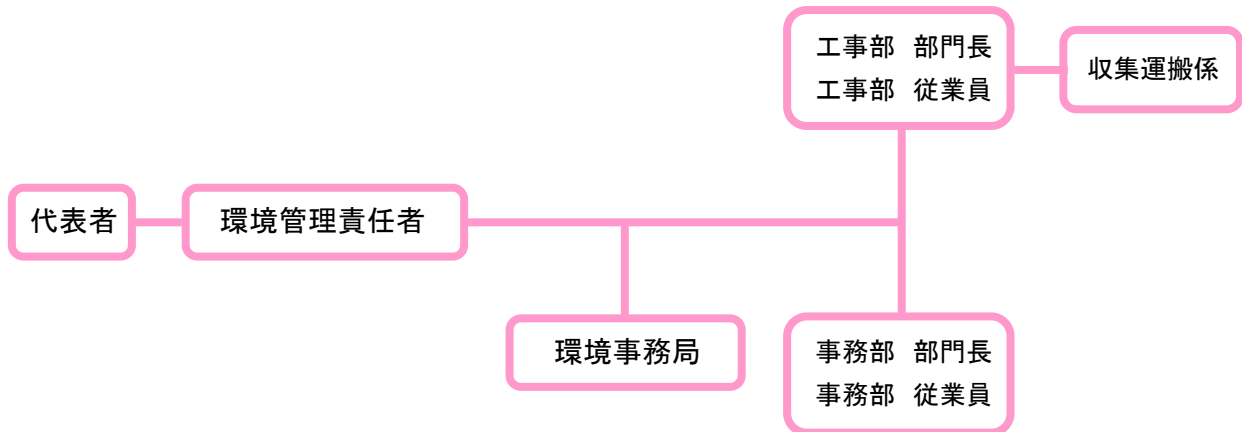
保有建設機械（舗装用建設機械）

アスファルトフィニッシャー、タイヤローラー、マカダムローラー、モーターグレーダ
振動ローラー2台、トラクターショベル、油圧ショベル2台

6. 認証・登録対象範囲

全組織・全活動・全従業員対象 建設業（土木工事業、舗装工事業）、産業廃棄物収集運搬業

環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営に関する統括責任 ● 環境経営システムの実施及び管理に必要な人員・設備・費用・時間・技術情報を用意 ● 環境管理責任者の任命 ● 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ● 環境経営目標の設定を承認 ● 全体の評価と見直しを実施し、それに基づいた指示 ● 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営システムの構築・実施・管理 ● 関連法規制等の要求事項登録簿を承認・遵守チェック ● 環境経営実施計画書を承認 ● 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック表の実施 ● 「環境関連法規制等チェックリスト」の作成並びに遵守チェック ● 環境経営目標・環境経営実施計画書案の作成 ● 環境経営実施計画の実績集計 ● 環境経営関連の外部コミュニケーションの窓口 ● 環境経営レポートの作成
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ● 自部門における環境経営システムの実施 ● 自部門における環境経営方針の周知 ● 自部門の従業員に対する教育・訓練の実施 ● 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ● 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ● 自部門の問題点の発見・是正・予防措置 ● 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順の確認・テスト・訓練・記録
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営方針への理解と環境への取組の重要性を認識 ● 決定事項を守り、能動的な環境経営への参加

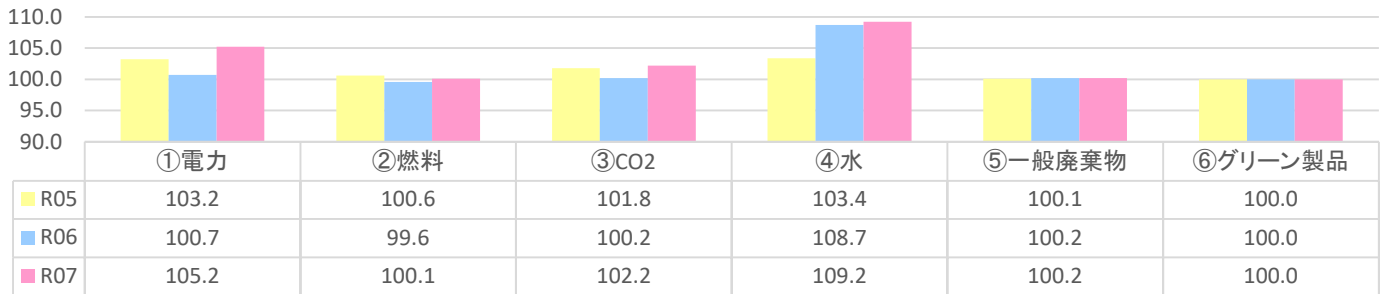
環境経営目標と実績 各部門別

【事務部】

項目	単位	令和4年度 R3.10~R4.09 実績(基準値)	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値	R10年度 目標値	R7年度 R6.10~R7.09 実績	達成率(+,-)		
①電力使用量	kWh/年	9902.00	9753.47	9703.96	9654.45	9604.94	9272.00	105.2%	+5.2%	○
②燃料使用量	ℓ/年	1155.55	1138.22	1132.44	1126.66	1120.88	1136.99	100.1%	+0.1%	○
③二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	5889.20	5800.86	5771.42	5741.97	5712.52	5677.78	102.2%	+2.2%	○
売上原単位	kg-CO ₂ /100万円(売上原単位額として)	2.10	2.07	2.06	2.05	2.04	2.76	75.2%	-24.8%	×
④水使用量	m ³	270.40	266.34	264.99	263.64	262.29	243.90	109.2%	+9.2%	○
売上原単位	m ³ /1000万円(売上原単位額として)	9.66	9.51	9.46	9.42	9.37	11.84	80.3%	-19.7%	×
⑤一般廃棄物排出量	kg/年	120.30	118.50	117.89	117.29	116.69	118.260	100.2%	+0.2%	○
⑥グリーン購入の推進	品/年	8.00	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	100.0%	±0	○

- 令和4年度実績値を基準値と定める 毎年度目標【①②③④⑤-0.5%/年 ⑥基準値以上】
- 実施期間…令和5年10月~令和6年9月 今年度目標【①②③④⑤基準値-1.0% ⑥基準値以上】
- 実施期間…令和6年10月~令和7年9月 今年度目標【①②③④⑤基準値-1.5% ⑥基準値以上】
- ⑥については、これ以上の増加が見込めないため、基準値以上を目標とする。

過去3年間の目標達成率(%)事務部



【工事部】

項目	単位	令和4年度 R3.10~R4.09 実績(基準値)	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値	R10年度 目標値	R7年度 R6.10~R7.09 実績	達成率(+,-)		
②燃料使用量	ℓ/年	30656.41	30196.56	30043.28	29890.00	29736.72	24649.23	122.5%	+22.5%	○
③二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	74622.22	73502.89	73129.78	72756.66	72383.55	59344.16	123.9%	+23.9%	○
売上原単位	kg-CO ₂ /100万円(売上原単位額として)	26.65	26.25	26.12	25.98	25.85	28.81	91.1%	-8.9%	×
⑦産業廃棄物の リサイクル推進	%/年	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.0%	±0	○
産業廃棄物排出量	t	1461.06	—	—	—	—	1450.34	—	—	—
⑧環境に配慮した 資材使用	品/年	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	100.0%	±0	○
⑨地域貢献活動	参加者数/工事部員数	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.0%	±0	○
⑩収集運搬車両燃費	km/ℓ	6.26	7.20	7.51	7.83	8.14	7.26	100.8%	+0.8%	○

- 令和4年度実績値を基準値と定める 毎年度目標【②③-0.5%/年 ⑦⑨基準値の維持 ⑧基準値以上 ⑩+0.5%/年】
- 実施期間…令和6年10月~令和7年9月 今年度目標【②③基準値-1.5% ⑦⑨基準値の維持 ⑧基準値以上 ⑩基準値+1.15%】
- 化学物質については、例年使用実態がないため目標設定せず。
- ⑧については、これ以上の増加が見込めないため、基準値以上を目標とする。
- ⑨については、活動回数ではなく、工事部員の中の活動に参加した者の割合で100%を目指す。

過去3年間の目標達成率(%)工事部



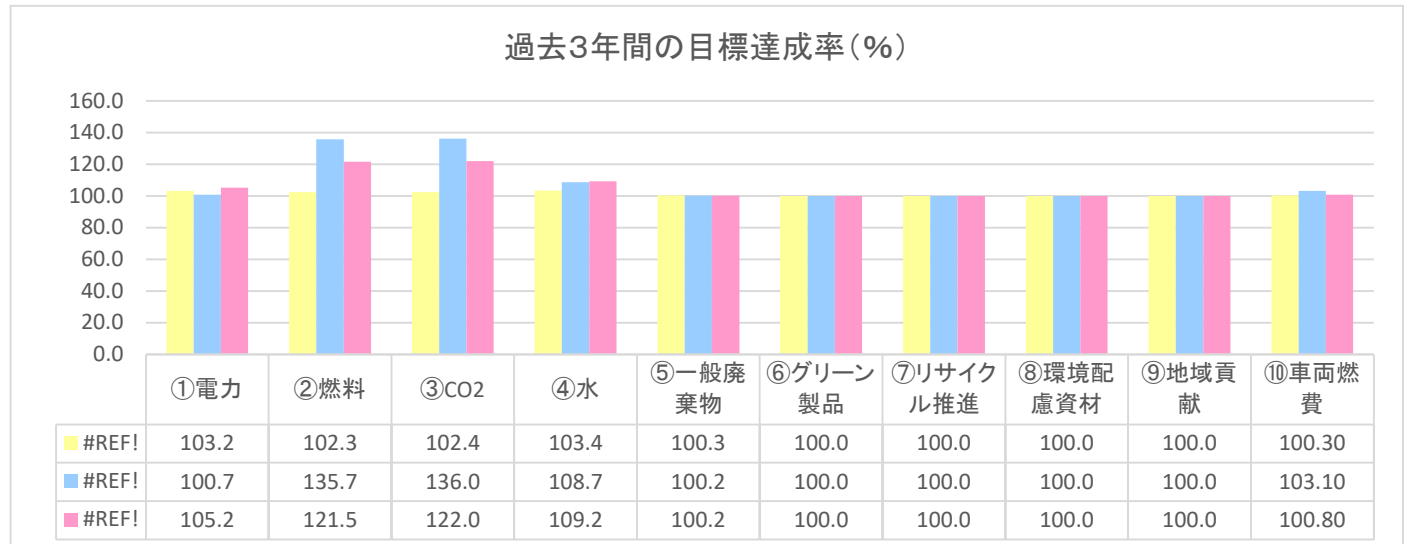
環境経営目標と実績 全体

項目	単位	令和4年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R7年度	達成率(+,-)		
		R3.10~R4.09 実績(基準値)	目標値	目標値	目標値	目標値	R6.10~R7.09 実績			
①電力使用量	kWh/年	9902.00	9753.47	9703.96	9654.45	9604.94	9272.00	105.2%	+5.2%	○
②燃料使用量	ℓ/年	31811.96	31334.78	31175.72	31016.66	30857.60	25786.22	121.5%	+21.5%	○
③二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	80511.40	79303.73	78901.17	78498.62	78096.06	64988.92	122.0%	+22.0%	○
売上原単位	kg-CO ₂ /10万円(売上原単位額として)	28.75	28.32	28.18	28.04	27.89	31.55	89.8%	-10.2%	×
④水使用量	m ³	270.40	266.34	264.99	263.64	262.29	243.90	109.2%	+9.2%	○
売上原単位	m ³ /1000万円(売上原単位額として)	9.66	9.51	9.46	9.42	9.37	11.84	80.3%	-19.7%	×
⑤一般廃棄物排出量	kg/年	120.30	118.50	118.50	117.29	116.69	118.26	100.2%	+0.2%	○
⑥グリーン購入の推進	品/年	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	100.0%	±0	○
⑦産業廃棄物の リサイクル推進	%/年	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.0%	±0	○
産業廃棄物排出量	t	1461.06	—	—	—	—	1450.34	—	—	—
⑧環境に配慮した 資材使用	品/年	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	100.0%	±0	○
⑨地域貢献活動	参加者数/工事部員数	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.0%	±0	○
⑩収集運搬車両燃費	km/ℓ	6.26	7.20	7.51	7.83	8.14	7.26	100.8%	+0.8%	○

- 令和4年度実績値を基準値と定める 毎年度目標【①②③④⑤-0.5%/年 ⑥⑧基準値以上⑦⑨基準値維持⑩+0.5%/年】
- 実施期間…令和6年10月～令和7年9月 今年度目標【①②③④⑤基準値-1.5% ⑥⑧基準値以上⑦⑨基準値維持⑩基準値+1.15%】
- 購入電力の排出係数 四国電力=0.326(kg-CO₂/kWh) H22年度
- 化学物質については、例年使用実態がないため目標設定せず。
- ⑥⑧については、これ以上の増加が見込めないため、基準値以上を目標とする。
- ⑨については、活動回数ではなく、工事部員の中の活動に参加した者の割合で100%を目指す。





過去3年間の目標達成率(%)








環境経営計画の内容と取組結果の評価

【事務部】

環境活動計画の具体的項目	評価				反省点・改善点等
	12月	3月	6月	9月	
①電力使用量の削減 	12月	3月	6月	9月	目標達成率 #REF! +5.2
●休憩時間等の消灯の励行	○	◎	◎	◎	良く達成できている。更なる削減に努める。
●空調の適温設定(暖房22℃、冷房26℃程度)	◎	◎	◎	○	
●冷却グッズ、冷感素材タオル等使用推奨	—	—	—	◎	
●扇風機等を使用しての室温調整	—	—	◎	◎	
②燃料使用量の削減 	12月	3月	6月	9月	目標達成率 #REF! +0.1
●アイドリングストップの徹底	◎	◎	◎	◎	ゆとりを持って目標を達成できるよう取り組む。
●石油製品(ストーブ、ファンヒーター)の適正使用	◎	○	—	—	
④水使用量の削減 	12月	3月	6月	9月	目標達成率 #REF! +9.2
●こまめに蛇口を閉める	◎	◎	◎	◎	売上原単位での目標を達成する。
●車両・工具等の洗浄回数の徹底管理	◎	○	◎	◎	
⑤一般廃棄物排出量の削減 	12月	3月	6月	9月	目標達成率 #REF! +0.2
●種類別のゴミ箱を設置、分別を徹底	◎	◎	◎	◎	今後も継続して努力する。
⑥グリーン購入の推進 	12月	3月	6月	9月	目標達成率 #REF! ±0
●事務用品のグリーン購入の推進	◎	◎	◎	◎	現状を維持し、継続して購入する。
●環境保護活動に取り組む企業・商品の選定	◎	◎	◎	◎	

【工事部】

環境活動計画の具体的項目	評価				反省点・改善点等
	12月	3月	6月	9月	
②燃料使用量の削減 	12月	3月	6月	9月	目標達成率 #REF! +22.5
●アイドリングストップの徹底	◎	◎	◎	◎	目標は達成できており、取り組みに対する努力は見られるが、売上原単位での目標も達成できるよう一層努力する必要がある。
●建設機械・工事用車両の点検整備の励行	◎	◎	◎	◎	
●エコドライブ10の励行	◎	◎	◎	◎	
●目的地までの最適ルートの事前確認	◎	○	◎	◎	
●建設機械等の運搬回数・移動距離効率化	◎	◎	○	◎	
●建設機械・車両への不必要品の積載不可	◎	○	◎	◎	
⑦産業廃棄物のリサイクル推進 	12月	3月	6月	9月	目標達成率 #REF! ±0
●建設副産物の再生処理の推進	◎	◎	◎	◎	良く達成できている。この状態を継続し維持する。
●再生材の分別の徹底	◎	◎	◎	◎	
●余剰資材の発生防止・削減・再利用	◎	◎	◎	◎	
⑧環境に配慮した資材の使用 	12月	3月	6月	9月	目標達成率 #REF! ±0
●使用資材を環境に配慮したものにする	◎	◎	◎	◎	今後もできる限り使用する。
⑨地域貢献活動 	12月	3月	6月	9月	目標達成率 #REF! ±0
●地域活動への積極的な参加	◎	◎	◎	◎	安定的に取り組めるよう努める。
⑩低公害車両の導入 	12月	3月	6月	9月	目標達成率 #REF! +0.8
●現在保有車両の燃費の調査	◎	◎	◎	◎	継続して取り組んでいく。
●費用対効果のシミュレーション	◎	○	◎	◎	

◎…大変良くできている ○…よくできている △…あまりできていない ×…できていない

達成状況の評価とチェックは 12月・3月・6月・9月に実施

令和8年度環境経営実施計画

【事務部】 評価担当:事務部長

重点テーマ	環境活動計画の具体的項目	スケジュール(月)			
二酸化炭素排出量削減	①電力使用量の削減 	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●休憩時間等の消灯の励行	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●空調の適温設定(暖房22℃、冷房26℃程度)	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●冷却グッズ、冷感素材タオル等使用推奨	—	—	—	7.8.9.
	●扇風機等を使用しての室温調整	10.11.12	—	—5.6	7.8.9.
	②燃料使用量の削減 	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
水使用量削減	●アイドリングストップの徹底	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●石油製品(ストーブ、ファンヒーター)の適正使用	—11.12	1.2.3.	—	—
水使用量削減	④水使用量の削減 	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●こまめに蛇口を閉める	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●車両・工具等の洗浄回数の徹底管理	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
一般廃棄物排出量削減	⑤一般廃棄物排出量の削減 	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●種類別のゴミ箱を設置、分別を徹底	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
グリーン製品購入推進	⑥グリーン購入の推進 	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●事務用品のグリーン購入の推進	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.

【工事部】 評価担当:工事部長

重点テーマ	環境活動計画の具体的項目	スケジュール(月)			
二酸化炭素排出量削減	②燃料使用量の削減	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●アイドリングストップの徹底 	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●建設機械・工事用車両の点検整備の励行	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●エコドライブ10の励行	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●目的地までの最適ルートの事前確認	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●建設機械等の運搬回数・移動距離効率化	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●建設機械・車両への不必要品の積載不可	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●適切な建設機械の選定及び施工	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
産業廃棄物リサイクル推進	⑦産業廃棄物のリサイクル推進 	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●建設副産物の再生処理の推進	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●再生材の分別の徹底	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●余剰資材の発生防止・削減・再利用	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
環境配慮型資材使用	⑧環境に配慮した資材の使用 	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●使用資材を環境に配慮したものにす	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
地域貢献活動	⑨地域貢献活動 	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●地域活動への積極的な参加	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
低公害車両の導入	⑩低公害車両の導入 	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●現在保有車両の燃費の調査	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.
	●費用対効果のシミュレーション	10.11.12	1.2.3.	4.5.6.	7.8.9.

達成状況の評価とチェックは12月・3月・6月・9月に各部門長が実施
9月に代表者による全体の達成状況の評価とチェックを実施

SDGsとの関連及び取組状況の確認

重点テーマ 事務部	環境活動計画の具体的項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
二酸化炭素 排出量削減	①電力使用量の削減 ●休憩時間等の消灯の励行 ●空調の適温設定(暖房22℃、冷房26℃程度) ●冷却グッズ、冷感素材タオル等使用推奨 ●扇風機等を使用しての室温調整																	
	②燃料使用量の削減 ●アイドリングストップの徹底 ●石油ファンヒーターの適正使用																	
水使用量削減	④水使用量の削減 ●こまめに蛇口を閉める ●車両・工具等の洗浄回数の徹底管理																	
	⑤一般廃棄物排出量の削減 ●種類別のゴミ箱を設置、分別を徹底																	
グリーン製品 購入推進	⑥グリーン購入の推進 ●事務用品のグリーン購入の推進																	

重点テーマ 工事部	環境活動計画の具体的項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
二酸化炭素 排出量削減	②燃料使用量の削減 ●アイドリングストップの徹底 ●建設機械・工事用車両の点検整備の励行 ●エコドライブ10の励行 ●目的地までの最速ルートの事前確認 ●建設機械等の運搬回数・移動距離効率化 ●建設機械・車両への不必要品の積載不可 ●適切な建設機械の選定及び施工																	
	⑦産業廃棄物のリサイクル推進 ●建設副産物の再生処理の推進 ●再生材の分別の徹底 ●余剰資材の発生防止・削減・再利用																	
環境配慮型資材使用	⑧環境に配慮した資材の使用 ●使用資材を環境に配慮したものにする																	
地域貢献活動	⑨地域貢献活動 ●地域活動への積極的な参加																	
低公害車両の導入	⑩低公害車両の導入 ●現在保有車両の燃費の調査 ●費用対効果のシミュレーション																	

自社の環境活動とSDGsを照合、取組を見える化



地球・世界への影響が大きい取り組み(5項目以上)

- あらゆる場所であらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
- あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
- 全ての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- ジェンダー平等を達成し、全ての女性と女児のエンパワーメントを図る
- 全てのの人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
- 全ての人々に手頃で信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
- 全ての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用及び働きがいのある人間らしい仕事を推進する
- 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る
- 国内及び国家間の格差を是正する
- 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする
- 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
- 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
- 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
- 陸上生態系の保護、回復及び持続可能な利用の促進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止及び逆転、並びに生物多様性損失の阻止を図る
- 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、全ての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
- 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである

法令・条例	規制内容(概要)	チェック		
		環境事務局	環境管理責任者	代表者
●環境基本法	●事業活動に伴う公害の防止、自然環境の保護	○	○	○
●グリーン購入法	●出来る限り環境に配慮した物品の購入	○	○	○
●廃棄物の処理及び清掃に関する法律 産業廃棄物	●委託契約の締結・許可証の確認 ●産業廃棄物運搬車両表示と運搬内容記載面の携帯義務 ●マニフェストの交付・確認と5年間の保存、交付状況の報告	○	○	○
●廃棄物の処理及び清掃に関する法律 多量排出事業者	●産業廃棄物の前年度の発生量が1000t以上の事業者が処理計画書を提出 ●前年度の処理計画の実施状況報告	○	○	○
●廃棄物の処理及び清掃に関する法律 一般廃棄物	●条例に基づいたごみの分別排出	○	○	○
●建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	●対象工事の分別解体、再資源化の促進 ●発注者への計画等説明、都道府県知事への事前届出・完了報告	○	○	○
●液化石油ガス保安法	●車両積載の際の警戒表示の掲示 ●車両積載の際の消火設備及び資材工具の携行	○	○	○
●特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)	●基準適合機械の使用、排出ガス性能の維持、適性燃料の使用	○	○	○
●浄化槽法	●浄化槽の処理後でなければ公共用水域への排水禁止、浄化槽点検表の確認	○	○	○
●道路運送車両法	●乗車人員・積載物の重量等の制限の遵守	○	○	○
●騒音規制法	●指定地域内での作業時に各自治体への届出	○	○	○
●振動規制法	●指定地域内での作業時に各自治体への届出	○	○	○
●フロン排出抑制法	●業務用エアコン機器及びフロン類の適正管理 ●業務用エアコンの簡易点検の実施(3カ月に1回以上)・記録・保存	○	○	○

- 令和7年10月現在、遵守状況に問題がないことを確認済み
- 過去3年間、関係当局からの違反等に関する指摘及び環境関連法規の違反・訴訟・苦情等なし

環境活動の写真一例



●新型エアコン設置



●流用土敷均しの様子

【代表者による全体の評価と見直し・指示】

基準値となる令和4年度との工事売上高に差があったため、事務部・工事部での二酸化炭素排出量・水使用量の売上原単位での目標達成はできなかった。事務部においては、使用量の削減の努力は見られるので、目標達成に向けて努める必要がある。工事部に関しても、もう一度活動内容を精査し、活動に励む。

環境経営目標及び環境経営計画、実施体制については、特段の問題点は見られないので、今後も現体制を維持し、活動を継続していく。

【令和7年12月20日 代表取締役 中山文昭】